

2016 年度

中華人民共和國留学報告書

実習先：北京師範大学

実習期間：8月29日（月）～1月7日（土）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21015116
牧野笑花

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
4 - 1	留学のスケジュール	4
4 - 2	留学の詳細	5
5	所感	7
6	おわりに	7
	謝辞	8

付録

①	授業科目説明	10
②	留学日誌	12

1 留学先及び実習期間

留学先：北京師範大学 漢語文化学部

留学期間：平成 28 年 8 月 29 日 (月) ~ 平成 29 年 1 月 6 日 (金)

※帰国は 1 月 7 日 (土)

2 留学先概要

(1) 大学について

北京師範大学は、北京という都市に位置する。北京は、中華人民共和国の首都であり、人口が 2100 万人以上で、中華人民共和国の経済や政治に大きな影響を与える都市である。北京師範大学は中国で最も早く創立された近代教育機関の一つである。京師大学堂 (1898) という母体から生まれ、1902 年に北京師範大学として再建された歴史ある大学である。現在は中国政府に指定された重点大学の一つであり、清華大学、北京大学、中国人民大学と並べて、北京の「四大名校」と称されている。北京師範大学は 26 の学院、40 の研究院および多数の学術研究所を持つ総合大学である。非常に多くの学部を構え、あらゆる分野の研究を行うことができる。現在、4 年の学部生は約 9,900 人、大学院生は約 12,400 人、長期留学生は約 1,500 人が在学している。また、蔵書は 440 余万点もある。

(2) 大学で行われている教育について

北京師範大学は、質の高い教育を行っていることと、多くの留学生を受け入れていることに特徴がある。その中でも、師範大学であることから、教師を養成することにも力を入れている。今回の留学制度でお世話になった漢語文化学院は、国家の対外漢語教学の「人材育成基

地」として中心的役割を果たして、全国から優秀な教師予備軍が選抜されて集まってきているため、質のいい教育を受けることができる。今回お世話になった**語学コースは、中国語を母語としない学生に中国語の教育を行うものである**。クラス分けの際は、クラス分け試験をもとに、**初級者から上級者まで段階にレベル分け**をするため、充実した環境の中で自分に合った中国語を**しっかり学習することができる**。

3 留学目的

今回の留学の大きな**目的は、中国語におけるリスニング能力と会話能力の向上**である。留学に行くまでの中国語の学習において、リスニング能力とスピーキング能力が苦手を感じる部分であった。その二つの能力は、中国語を使用して、コミュニケーションをとるのには必要不可欠である。日本での中国語の学習において、本場の中国人と接する機会や本場の中国語を聞く機会は、多いとはいえない。そのため、新潟国際情報大学の派遣留学制度を利用してこれらのスキルを高めることを意識した。

授業以外の生活においては、中国人や他国の留学生との関わりを通じて、中国のみでなくその他の外国の文化や習慣、価値観などを教わり、それを理解し共有することを目的とした。一方で、日本の伝統的な文化や習慣の良さや考え方を理解してもらえるように伝えることも重要視した。これらのことを通して、国家間の違いを比較することで改めて日本を見直し、いくとともに、異文化理解の重要性を考える。

4 留学内容

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	午前	午後
8	29 (月)	日本出国	到着、入寮
	30 (日)	新入生登録	
9	1 (木)	Wi-Fi 使用可	新入生クラス分けテスト (リスニング・筆記・口答)

	2 (金)	入学式	
	3 (土)		クラス分け発表
	4 (日)	テキスト購入	
	5 (月)	授業開始	
	8 (木)		日中交流会 (北京師範大学の日本語学科の学生と)
	10 (土)		オリエンテーション 新入生歓迎会
	15 (木) ~ 18 (日)	中秋節 (休暇)	
10	1 (土) ~ 8 (土)	国慶節 (休暇)	
	9 (日)	国慶節 (休暇) 万里の長城訪問	
	10 (月)	国慶節 (休暇)	
	22 (土)		日中交流運動会 (希望制)
	26 (水)		中間テスト (日中文化交流 口頭)
	31 (月)	中間テスト (会話 発表)	
11	2 (水)	中間テスト (会話 口頭)	中間テスト (日中文化交流 筆記)
	3 (木)	中間テスト (リスニング)	中間テスト (会話 筆記)
	4 (金)	中間テスト (リーディング)	
	5 (土) ~	研修旅行 (希望制)	
	10 (木)	研修旅行 (希望制)	
12	18 (日)		北京の夜
	21 (水)		期末テスト (日中文化交流 口頭)
	26 (月)	期末テスト (会話 口頭)	期末テスト (初級報刊閲読)
	28 (水)		期末テスト (日中文化交流 筆記)
	29 (木)		期末テスト (会話 筆記)
	30 (金)	期末テスト (リーディング)	期末テスト (リスニング)
1	6 (金)		卒業式
	7 (土)		帰国

スケジュールに記載していない平日の授業内容

101-2 班

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
--	-----	-----	-----	-----	-----

8:00~8:45	リスニング	リーディング	会話		
8:55~9:40					
10:00~10:45	会話	リスニング	リーディング	会話	リーディング
10:55~11:40					
11:40~13:30	昼休み				
13:30~14:15	初級報刊閲読		日中文化交流	リスニング	
14:25~15:10					
15:30~16:15				太極拳	
16:25~17:10					

4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i) 新入生クラス分けテスト（リスニング・筆記・口答）・クラス分け発表

新入生クラス分けテストは教2楼で行われた。リスニング・筆記試験を大きな教室で受け、その後ほかの教室に移動し、口答試験を行い、その結果をもとに生徒たちのレベルに合わせて6つのレベルにクラス分けを行う。二日後の9月3日午後にクラス分けの発表が留学生第一公寓のロビーに張り出された。

ii) 日中交流会（北京師範大学の日本語学科の学生と）

新潟国際情報大学から北京師範大学に留学に行ったメンバーの10名、北京師範大学で日本語を学んでいる中国の大学2年生と3年生の中の20名が参加して、各々用意した演目を披露したり、約6名のグループに分かれて、お話をしたりとコミュニケーションをとった。中国人の友人を作るための重要な機会である。

iii) オリエンテーション・新入生歓迎会

日本人会によるオリエンテーションと新入生歓迎会で、今学期から北京師範大学で学び始める日本人を対象に行われた。オリエンテーションでは、北京師範大学の校内設備やイベントの説明や中国での交通機関などの注意点を教えてもらった。新入生歓迎会では、同時期に留学してきた日本人やそれ以外の日本人学生と話をしたりした。

iv) 万里の長城訪問

大学主催の留学生向けの行事で、希望すれば無料で行くことができる。大型バスに乗り、出発する。今回は八達嶺長城を訪問した。行った日は天気も良く、きれいな景色だった。

v) 日中交流運動会（希望制）

日本人会主催のイベントで、北京師範大学に在学する日本人と北京師範大学で日本語を学ぶ中国人と韓国人の中から希望制で行われた。人間知恵の輪や大縄跳び、借り物競争などで体を動かしながら、コミュニケーションをとった。

vi) 中間テスト

リスニング・会話・リーディング・日中文化交流の授業で中間試験が行われた。10月26日には日中文化交流の暗唱試験が、11月2日には日中文化交流の筆記試験が行われた。10月31日には、会話の発表（お題にそった内容の演技・話し合い）の中間試験が、11月2日には会話の先生との口頭試験が、11月3日には会話の筆記試験が行われた。11月3日にはリスニングの試験が行われて、11月4日にはリーディングの試験が行われた。

vii) 研修旅行

大学が留学生向けに主催してくれたツアーで、希望した人は比較的安い価格で旅行に行くことができる。今回の目的地は河南省で、少林寺や文字博物館、現地の小学校などを訪問した。クラス単位で参加するため、クラスメイトとの距離を縮めることができる。また、今回は大型バスでの移動が多かったため、他のクラスの外国人とも話せる機会であった。

viii) 北京の夜

北京の夜は、北京師範大学に在学している留学生たちが各々の国家や地域の特色ある演目を披露するというものである。ダンスや歌やファッションショーなどさまざまである。日本の演目として、現代音楽を使用してエイサーを踊るという創作エイサーを披露した。このイベントを通じ、様々な国家や地域の文化をより理解することができた。

ix) 期末テスト

リスニング・会話・リーディング・日中文化交流・初級報刊閲読の授業で中間試験が行われた。12月21日に日中文化交流の暗唱試験が行われ、12月28日には日中文化交流の筆記試験が行われた。12月26日には初級報刊閲読の試験が行われた。12月26日には会話の先生との口頭試験が、12月29日には会話の筆記試験が行われた。12月30日にはリスニングの試験とリーディングの試験が行われた。

5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 中国語におけるリスニング能力と会話能力の向上

北京に行った当初は、先生や店員さんが言っていることをほとんど聞き取れなかったが、時間がたつにつれ、聞き取れるようになるだけでなく、わからない部分を質問できるようになった。帰国後、中国語検定の過去問題を解いた際、以前リスニング問題を受けた時より、正解率が上がった。しかし、リスニング能力や会話能力はブランクが空くと元に戻ってしまうため、今後も勉強をし続けていきたい。

ii) 異文化を理解すること

他国から来た留学生やルームメイト、中国人の友達との交流を通じて、また、北京での生活をするを通じて、日本とは異なる文化や価値観を感じ、理解することができた。また、北京での生活において、時間がたつにつれて応じていくことができるようになった。その一方で、授業時に発表などの機会がある時には日本の良さや文化を伝えることができた。今後とも異文化理解を深めるとともに、日本の文化も伝えていきたい。

6 おわりに 反省・課題

最初は長いと感じた四ヶ月間の留学であったが、最終的には短いと感じるほど、日々刺激を受け、新しい発見をすることができた非常に充実した留学にすることができた。しかし、積極的な姿勢を持てなかったことにおいて、少し後悔が残っている部分もあるため、今後の生活ではそのような後悔がないようより努力していきたい。

今回の留学で得た経験は、非常に貴重なものであった。中国語の学習においても、成長できたと感じたが、忘れずに、より語学力を伸ばすために、勉強を続けていきたい。また、生活するうえで、中国やその他の国との文化や価値観の違いを知ることができた。一つの価値観にとらわれないためにも、今後も異文化を理解し、柔軟な考えを持てるようにしていきたい。

謝辞

今回、留学先で私たちの必要な手続きや困ったことを手助けしてくださった副班主任の何玲玲さん、漢語文化学院にて、親身に丁寧に中国語を教えてくださった私の班主任であった徐棠さん、他の授業を担当してくださった孙优さん、梁梅さん、陈昭さん、賈笑寒さん、

唐春红さん、星星さん、毎日の生活する寮を管理してくださった寮の受付係、警備員、清掃員さん、留学を後押しし、支えてくれていた家族、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の中国留学担当で留学前や帰国後の活動への指導をしてくださった佐藤若菜先生、留学中に北京師範大学に来て気をかけてくれた區建英先生には心より感謝

いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本留学参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。





付録①：授業科目説明

この授業科目の内容は、今学期の私のクラスのものである。

以下3つの教科は101班のレベルの生徒が基本的に受けるものである。

リスニング（聴力）

先生：徐業先生

1 单元ごとに単語の意味と使用方法を学んだ後、単元の本文を聞きながら重要な文法などを学んでいく。

小テスト① 聞いた単語を書き取る問題

小テスト② 単元終了後、先生が考えてくれる定期試験にそったリスニング問題

定期試験 リスニング問題

会話（会話）

先生：梁梅先生

1 单元ごとに教科書の本文を読みながら、要約の練習していくのと同時に、文中の文法を学びながら、その文法を使用して会話の練習をする。

課題① 1人で好きなテーマについて中国語を使用し、異なるテーマで2度プレゼンする

課題② 单元ごとに個人またはグループでテーマにそったプレゼンもしくは演目をする

小テスト 学習した文法を使用して文を作る

- 定期試験 演目（中間のみ）テーマにあった話し合いもしくは演技をする
口頭 先生に提示された文章を読み、その後これまでの単元のテーマにそった質問に自分の意見を述べる
筆記 授業内で学習した単語や文法についての筆記問題

リーディング（読写）

先生：孙优先生

1 単元ごとに単語の意味と使用方法、文法の使用法を学びながら、教科書の本文の内容を理解していく。その後、ワーク問題を利用し、それらの理解を深める。

課題① 日々の授業内容に応じて、先生が指定するワーク問題

課題② 時々、単元にそった内容、もしくは学習した文法を使って指定した内容について300字以上の作文

小テスト 聞いた単語を書き取る問題

定期試験 授業内で学習した単語や文法について、また文章を読み解く、文章を異なる文章に書き換える作文などの筆記問題

以下の3教科は新潟国際情報大学から留学に行った生徒向けのものである。

日中文化交流

先生：賈笑寒先生、唐春红先生

授業内で取り組むことは、主に2つに分かれる。一つ目、歴史上で日本と中国をつなげる文化的活動をした人を毎時間1人ずつ学習していき、理解を深める。二つ目、日本語の文を中国語に訳していく問題を解き、中国語の文法や使用法を学ぶ。

課題 担当した歴史上の人物を紹介するためのパワーポイントと日本語の原稿を用意

中国語で担当した歴史上の人物を紹介する5つの文を考える

定期試験 口頭 歴史上の人物（5つの文）×5人分を覚え、当日くじ引きで当たった歴史上の人物1人分の5文を暗唱する。

筆記 授業内で訳した中国語の文法や使用法を覚え、日本語を中国語に訳す。

初級報刊閲読

先生：陈昭先生

各自課題でやってきた新聞記事の要約とその考え方を発表し、問題を他の生徒に提示し、各々の意見を発表し問題を理解する。その後、単元ごとの単語や文法を学び教科書内の記事の内容を理解していく。

課題① 隔週で各自新聞から興味のある記事を要約し、自分の考えをまとめ、問題を考える

課題② 各自順番が回ってきたら、教室の前に立ち、課題①の要約、考え方を発表し、問題を生徒たちに提示する

定期試験 これまで学習した部分のまとめ、新聞記事の読み取り問題

太極拳

先生：星星先生

大学内にある広場で先生が太極拳を教えてくれる。

付録②：留学日誌

8月29日 火曜日
出発 6:00 新潟駅
内容 ・新潟駅から成田空港までジャンボタクシーで移動、空港で佐藤先生と合流 ・成田空港から北京まで飛行機で移動 ・北京で入国審査 ・北京首都国際空港から北京師範大学までバスで移動

移動の所感

朝早くから出発して、ジャンボタクシーに約6時間乗り、飛行機に約4時間乗り、その後空港に着いてからも、大学までバスに乗り、移動時間がとても長く感じた。実際に大学の寮である**兰蕙公寓**に着いたのは夜で、入寮手続きを終えたのは夜遅くであった。とても疲れた。

8月30日 水曜日

入学手続き・大学案内
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・新入生登録 ・校内案内 ・大学内での支払い方法について（学生カードの使用方法） ・寮の使用方法（洗濯など） ・銀行・ATMの使用方法

内容と所感

佐藤先生と副班主任である何玲玲さんが新入生登録の手伝いをしてくれた。大学の敷地はとても広かった。食堂の使い方や校内での買い物方法などを教えていただいた。そのほかにも、銀行やATMの使用方法や寮の洗濯機などの使用方法を教えてもらった。慣れるまで大変だと思ったが、慣れたら支払いなどもカードでできるので、便利になるのではと考えた。

9月5日 月曜日
授業開始
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・授業開始（リスニング 会話 初級報刊閲読） ・自己紹介 ・成績のつけかたについて ・今後の予定について

内容と所感

授業が開始された。月曜日は3教科あった。班主任がリスニング担当の先生であることが分かり、班主任の先生はとても親切なことが分かり、安心した。リスニングの時間には、初回であるため、先生の紹介と生徒たちの自己紹介が行われた。成績のつけ方や授業の進み方についての説明があった。実際に授業がどのように進んでいくか不安もあったが、一生懸命取り組もうと決めた。

9月8日 木曜日

日中交流会
内容 ・用意してきた演目披露 ・日本語学科の学生とお話し

内容と所感

留学に行く前から、この日中交流会で披露するために用意していた出し物をした。私たちのグループは、中国でも人気の日本のアニメソングと SMAP が歌う中国語の世界に一つだけの花を歌った。もう一つのグループは、日本の文化や習慣についてのクイズを披露した。また、5つの机に分かれ、その机のメンバーとお話をした。出し物がうまくいくか、上手にコミュニケーションをとれるか不安であったが、最終的には楽しい気持ちで終わらせることができた。この交流会が、中国人の友達を作るための大きな機会であった。

内容と所感

9月12日 月曜日
会話の授業 10:00~11:40
内容 ・单元ごとの発表

同じ国家の学生同士でまとめ、各自の国家の特色ある料理を紹介するという発表を行った。私を含めた日本の生徒は1人が1料理を担当し、各自すき焼きや蕎麦、たこ焼き、もち、天ぷら、納豆等を紹介した。他国から来た学生らも各国の特色ある料理を紹介していて、それらを知ることができとても興味深かった。



9月17日 土曜日
天安門・故宮訪問
内容 ・天安門訪問 ・故宮訪問 ・景山公園訪問 ・北海公園訪問

内容と所感

9月15(木)～18(日)の期間が、中秋節(休暇)だったため、副班主任の何玲玲さんが上の4つの観光地を案内してくれた。バスと地下鉄に乗り、天安門を訪れた。その後故宮を訪れ、博物館に飾ってある展示品を見て回った。さらにその後、景山公園と北海公園を訪れた。どこも非常に広く雄大な景色を持っていた。また、中国の歴史をととても感じる事ができた。

10月1日 土曜日 ～10月4日 火曜日
内モンゴル3泊4日旅行
内容 1日目 ・北京語言大学に集合後、バスに乗り出発 ・草原に向かい、乗馬体験 ・夕食後、キャンプファイヤー ・ゲルに宿泊 2日目 ・砂漠に向かいバスで移動



- ・砂漠でリフト乗車、ラクダに乗る体験などをする
- ・ホテルに宿泊

3日目

- ・民族風情園をまわり、内モンゴルの民芸品見学・お土産購入
- ・恐竜博物館を見学
- ・大同に向かいバス移動
- ・ホテルに宿泊

4日目

- ・雲崗石窟見学
- ・県空寺見学
- ・帰宅

内容と所感

10月1（土）～10（月）の国慶節（休暇）を利用し、北京にあるクリニックの人が計画した内モンゴル3泊4日のツアーに参加した。このツアーには他大学からも参加している人がいて、新しい人たちとも出会うことができた。この4日間で、内モンゴル・大同地区でしか体験できないことや見学できないところへ行った。世界遺産にも行くことができた。内モンゴルは北京から少し離れていたこともあり、移動時間が多く少し疲れた。しかし、北京以上に、雄大かつ綺麗な景色だった。このように、自然やゲル、食事などの現地の文化を体験することができた。また、博物館や4日目に訪れた雲崗石窟、県空寺からは悠久の歴史を感じることができた。この旅行を通して、北京だけではなく中国の異なる土地の文化を学ぶことができ、非常に貴重な体験をすることができた。



10月9日 日曜日

万里の長城訪問

内容

- ・バスに乗り八達嶺長城に向かう
- ・各自自由に長城をのぼる

内容と所感

大学主催の留学生向けのツアーであり、バスに乗り八達嶺長城に向かい各自自由に長城をのぼった。急な坂や段差が安定していないところがあり、のぼるのが大変だったが達成感

も感じる事ができた。万里の長城はとても長く、かつてそれを作った人々はすごいなと感じた。



10月19日 水曜日
会話の授業 8:00~9:40
内容 ・課題である自分の好きなテーマでの発表 (1回目)

内容と所感

会話の授業で学期内に二度自らの好きなテーマで発表するうちの1回目である。今回は日本のテーマパークについて紹介した。東京ディズニーリゾート、ユニバーサルスタジオジャパン、富士急ハイランドの3つをメインにパワーポイントを作成して、中国語を使用して発表を行った。ほかの生徒たちの興味をひけて良かった。

10月24日 月曜日
クラス会
内容 ・放課後にクラスメイトで集まり中華料理店に行き食事

内容と所感

班長を中心に計画されたクラスの食事会で、中華料理屋さんで行われた。普段席の関係などであまり話す機会のない生徒などとも話す事ができた。クラス全体の仲が深まった気

がした。



10月26日 水曜日
中間テスト（日中文化交流 口頭） 13:30～15:10
内容 ・暗唱テスト

内容と所感

前回行われた日本語を中国語に訳す問題の解説をしたのち、中間テストを開始した。中間テストまでに発表された歴史上の人物5人のうち、くじで引いた1人の文章を暗唱するという試験を行う。鑑真の文章を暗唱したが、無事覚えていった成果が出てよかった。

10月31日 月曜日
中間テスト（会話 発表） 10:00～11:40
内容 ・各自グループを作り、テーマにそった話しあいや演技を発表

内容と所感

知り合いと遊びに行く予定を立てる内容で、食事や交通などのキーワードを使用した演技を行った。少し恥ずかしく感じる部分もあったが、自分たちで設定や内容を考えていくこ

とで、学習した文法や単語をより理解することにつながった。

11月2日 水曜日
中間テスト（会話 口頭） 8:00～9:40
内容 ・先生に提示された文を読み上げる ・テーマにそった問題に対して自分の意識を述べる

内容と所感

先生が用意したいくつかの文を読み上げたのち、テーマにそった問題に対して自分の意識を述べるといった口答試験を行った。自分の意見を述べる問題は、緊張してテーマから少しずれた回答をしてしまった。そのため、筆記試験をより頑張らなければと感じた。

11月2日 水曜日
中間テスト（日中文化交流 筆記） 13:30～15:10
内容 ・筆記問題を解く

内容と所感

これまで授業で習った文法などを中心にした筆記問題である中間試験を行った。こちらの試験でも緊張して、文法を忘れてしまった部分があった。復習をしっかりと、間違えた部分を忘れないように覚えていきたい。

11月3日 木曜日
中間テスト（リスニング） 10:00～11:40
内容 ・リスニング問題を解く

内容と所感

約4種類の問題形式のリスニング問題を解いた。すべて選択問題であったため、比較的解きやすいと感じた。

11月3日 木曜日
中間テスト（会話 筆記） 15:30～17:10
内容 ・会話の筆記問題を解く

内容と所感

量詞や授業内で学習した文法などを中心にした会話の筆記問題を行った。発表や口頭試験も行われていたので、問題数が比較的少なかった。

11月4日 金曜日
中間テスト（リーディング） 10:00～11:40
内容 ・リーディングの試験

内容と所感

目的語を書く問題や空間に合う語を選択する問題、指定された文法を使用し内容に合う文を作る問題、短い文章の読み取り問題、作文問題などを行った。ほかの定期試験と比べ、問題量が多く感じた。

11月5日 土曜日 ～ 11月10日 木曜日
研修旅行
内容 1日目 ・大学から北京西駅までバス移動 ・寝台列車に乗り、 郑州 へ向かい出発 2日目 ・少林寺見学

・河上街散策・夜ご飯

3日目

- ・許慎文化園見学
- ・現地の小学校見学
- ・開源大劇院にて文芸演出鑑賞

4日目

- ・開源森林公園見学
- ・夕食としてバーベキューをした後、キャンプファイヤー

5日目

- ・開封府見学
- ・鉄塔見学

6日目

- ・中国文字博物館見学
- ・殷墟博物館
- ・安陽高鉄駅から高鉄に乗り北京に帰宅

内容と所感

この研修旅行も大学が留学生向けのツアーであり、北京以外の都市を訪れることができる。目的地は毎年異なるらしいが、今年は河南省が目的地であった。内モンゴルと同じく、北京以外の中国の都市の文化や生活を少しだけけれど、感じとることができてとても充実したものだった。寝台列車や中国の新幹線のような高鉄にも乗ることができた。旅行の費用は、大学側が部分的に負担してくれるため、比較的安い価格で旅行に行くことができた。また、現地の小学校見学や開源大劇院にて文芸演出鑑賞によって、中国独自の教育環境や伝統演目を学ぶことができ、日本とは異なった良さを感じることや、学ぶべきところもあるということを感じた。

11月16日 水曜日

日中文化交流 発表 13:30~15:10

内容



・栄西についてみんなに発表

内容と所感

日中文化交流において、私が担当していた栄西の発表を行った。栄西についてみんなに知ってもらえるように、パワーポイントを作って、日本語で説明を行った。また、栄西が中国と日本の交流のためにしたことが分かる 5 つの文を中国語で作って、それを皆で覚えるということを行った。このように、発表するために調査することで、自分自身知らなかった歴史上の日本と中国の文化を交流する人物について知ることができた。現在の文化の交流も重要だが、過去を見つめなおすことも重要だと感じた。

12月7日 水曜日

会話の授業 8:00~9:40

内容

・課題である自分の好きなテーマでの発表（2回目）

内容と所感

会話の授業で学期内に二度自らの好きなテーマで発表するうちの2回目である。今回は少し遅れた自己紹介を行った。好きな物語や動物、出身地などをクラスメイトに紹介した。自分自身をより知ってもらえるいい機会であった。それ以上に新潟の良さについて、紹介をした。新潟の食文化や四季折々の魅力などを伝えることができ、また、知ってもらえることがとても嬉しかった。

12月18日 日曜日

北京の夜

内容

- ・準備、練習、スタンバイ
- ・北京の夜本番

内容と所感

北京の夜は、北京師範大学に留学に来ている各国の歌やダンスなどの文化を披露する、いわば文化祭のようなものである。日本の留学生は現代の音楽を使って、創作エイサーを披露した。北京の夜の本番までには、定期的な練習や予選なども行われていた。北京の夜本番の日は、衣装を着て髪型のセットやメイクなどの準備を行った。また、本番に向け練習を行った。そのほかにもスタンバイしながら、他国の演目を鑑賞した。自国の文化を発信できたことにとっても達成感も感じた。その一方で、他国の演目も見ることができて、とても貴重な体験になった。



12月21日 水曜日

期末テスト (日中文化交流 口頭) 13:30~15:10

内容

- ・暗唱テスト

内容と所感

前回行われた日本語を中国語に訳す問題の解説をしたのち、中間テストを開始した。期末テストまでに発表された歴史上の人物5人のうち、くじで引いた1人の文章を暗唱するという試験を行う。孫文の文章を暗唱した

12月26日 月曜日
期末テスト（会話 口頭） 10:00～11:40
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・先生に提示された文を読み上げる ・テーマにそった問題に対して自分の意識を述べる

内容と所感

先生が用意したいくつかの文を読み上げたのち、テーマにそった問題に対して自分の意識を述べるといった口答試験を行った。自分の意見を述べる問題は、前回よりも比較的適切な回答ができた。

12月26日
期末テスト（初級報刊閲読） 13:30～15:10
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・初級報刊閲読の期末問題を解く

内容と所感

授業で学習した文法や単語を空間に入れる問題や要約問題、記事の読み取り問題を中心とした期末試験を行った。記事の読み取り問題では、意見を記述する問題もあり、少し難しく感じた。

12月28日 水曜日
期末テスト（日中文化交流 筆記） 13:30～15:10
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・筆記問題を解く

内容と所感

これまで授業で習った文法などを中心にした筆記問題である期末試験を行った。復習をしっかりとできたため、前回よりも問題を多く解くことができた。

12月29日 木曜日

期末テスト（会話 筆記） 13：30～15：10
内容 ・会話の筆記問題を解く

内容と所感

量詞や授業内で学習した文法などを中心にした会話の筆記問題を行った。前回よりも、少し試験内容が難化していると感じた。

12月30日 金曜日
期末テスト（リーディング） 10：00～11：40
内容 ・リーディングの試験

内容と所感

目的語を書く問題や空間に合う語を選択する問題、指定された文法を使用し内容に合う文を作る問題、短い文章の読み取り問題、作文問題などを行った。ほかの定期試験と比べ、問題量が多く感じた。

12月30日 金曜日
期末テスト（リスニング） 13：30～15：10
内容 ・リスニング問題を解く

内容と所感

約4種類の問題形式のリスニング問題を解いた。すべて選択問題であったが、第3問と第4問がつながっていて、少し解きにくく感じたが、どのような問題でも対応できる柔軟性を身に着ける必要があると感じた。

1月5日 木曜日

何玲玲さんとお別れ会

内容

- ・中華料理店で食事
- ・玲玲さんにお礼の言葉を伝え、プレゼントを渡す

内容と所感

留学期間中に大変お世話になった何玲玲さんと中華料理店に食事に行った。食事をしながら、各自玲玲さんにこれまでの感謝の気持ちを伝えること、プレゼントを渡すなどをした。

